

第53回



全国ホタル研究会 京都大会



—プログラム—

期日：2022年6月3日(金)～5日(日)

会場：ホテルルビノ京都堀川

6月3日(金)：ホタル観察会

6月4日(土)：講演、研究発表会

6月5日(日)：ホタル発生地視察

主催：全国ホタル研究会

主管：第53回全国ホタル研究会京都大会実行委員会

共催：京都ほたるネットワーク

後援：環境省 京都府 京都市





第53回全国ホタル研究会 京都大会に寄せて

全国ホタル研究会 会長 遊磨正秀

この度、第53回全国ホタル研究大会が、ここ京都市において全国の会員ならびに地域のみなさまの参加により開催されますことを心よりお祝い申し上げます。京都大会は令和2年(2020年)に開催が予定されていましたが、近年のコロナウィルス禍のために開催が2年延期されてきました。まだまだ不安が残る状態ではありますが、みなさまのご協力のもと、全国大会を開催することができました。

昭和43年(1968年)に始まりましたこの全国ホタル研究会の歴史は半世紀を超え、平成30年(2018年)年の第51回大会は日本最北の北海道稚内で、平成31(2019年)の第52回大会は最南とも言える沖縄県久米島で開かれました。今回は近畿地方の開催となりますが、実は京都での開催は始めてです。

京都市には、国の天然記念物に指定されている「清滝川のゲンジボタルおよびその生息地」や京都市文化財に指定されている「哲学の道」のゲンジボタル及びその生息地などのホタルの保護区があります。京都市の東側には白川、中央には鴨川などがおおむね北から南へ流れています。また先の「哲学の道」は琵琶湖より京都市に導水するために造られた水路(疏水)沿いの道です。ほかにも、伏見への舟運を容易にするために造られた高瀬川など、多くの人工水路もあります。これらの自然水系や人工水系の各所にゲンジボタルが生息しています。さらに、京都の風流の名所として祇園がありますが、その近傍、市街地中心部の鴨川沿いにある「みそそぎ川」にもゲンジボタルが生息し、なんと鴨川へ張り出した茶店の床の下でその光の舞いをみることができます。

祇園囃子が聞こえてくる季節も間近になりました。残念ながらこの2年ほどの間は、日本各地の活動が制限されてきたことでしょうか、古都京都に集ってくださったみなさまが、私たちの暮らしの身近な場所で飛び回るホタルやさまざまな生き物たちのこと、それらの情景により豊かな心身を育むことができるような環境について語り合い、本大会が、多くの方々の今後の活動に有益な場となることを願っています。

ごあいさつ



53回全国ホタル研究会京都大会
実行委員会 会長 西野 伸

全国ホタル研究会京都大会を開催するにつきまして、一言ご挨拶をさせていただきます。

全国ホタル研究会は55年の歴史を重ねていますが、京都での大会がなかったことは不思議に思います。

今から12年前に京都ほたるネットワークという組織を立ち上げ、京都市内でホタルの保護育成に関わっている方々や、グループに声をかけ、約30団体50人程でスタートいたしました。言わずと知れた、かように熱心な人々がホタルに関わっているにもかかわらず、全国的な会の組織に所属しているのが、私の知っている限りでは2人でした。

たまたま会の会長をしておられる遊磨正秀さんとは、かれこれ30数年の知り合いだったご縁で、京都大会開催の声を掛けられ、京都ほたるネットワークの役員の方に相談し、実行する運びとなりました。

しかし、行政からの援助や応援はなく、実行委員で運営費を集めなければならず苦労いたしました。また会の流れは前回開催地の久米島へ行き、参考にさせていただきました。

近年ホタルは里山で見られますが、京都市内のネオン街の側で、また有名社寺、そして京都の中心地に流れている鴨川で観察することができます。そして多くの市民や子供たちに愛されています。また小学校では、教育の一環としてホタルの育成に取り組んでおり、われわれ京都ほたるネットワークがお手伝いをしています。

このように大人から子供へとホタルの存在が広く大きく膨らんできたことは大変に喜ばしいことと思います。

最後にこの会が成功し、京都へ来てよかったと思っていただけるように、一同努力いたします。



大会次第

6/3 (金)

- 13:00 受付 ルビノ京都堀川ホテル 2F みやこの間
- 14:00 実行委員挨拶&オリエンテーション — 西野 伸
- ・来賓挨拶 京都市河川防災担当部長 — 小田宏一様
 - ・演題発表 — 「京都のホタルまちなかをとぶ」 — 幸野理乃
- 〈休憩〉
- ・特別講演 — 「祇園祭と川神信仰」
— 京都佛教大学民俗学教授 八木 透
 - ・各地からの報告 — 遊磨正秀
 - ・鑑賞会の案内 — 幸野理乃
- 17:30 ~ 19:00 夕食弁当と休憩 (みやこの間)
- 19:30 ~ ホタル観賞会のためホテル出発
「みそそぎ川」ホタル観賞 *以後自由解散
○ルビノ堀川行 帰館バス
午後9時 御池通り河原町西入る南側 本能寺会館前発

6/4 (土)

- 9:00 受付
- 10:00 ~ 全国大会会長挨拶 — 遊磨正秀
- ・演題発表 — 「ゲンジボタル幼虫とカワニナ — 摂餌に際しての関係逆転」
— 佐々木潤夫
 - ・演題発表 — 「小型と大型ヒメボタルの生息分布と遺伝的特性」
— 草桶秀夫、女川博美、宮原真樹、米沢正美、三田村佳政
- 「ホタル関連の報告」 — 遊磨正秀
- ・クメジマボタルの国際自然保護連合リスト掲載への紹介
 - ・視察報告：大阪府島本町 — 3種のホタルの保全 (ほか)
- 〈昼食〉(弁当) (12:00 ~ 13:00 役員会議)
- 13:00 ~
- ・演題発表 — 「天草に生息するゲンジボタルの発光周期について」
— 倉田玲美、松崎惺来、宮崎 一
 - ・演題発表 — 「群馬県豊岡市のゲンジボタル発光パターンのビデオ画像解析」
— 井口 豊
- 〈休憩〉
- ・演題発表 — 「ゲンジボタル成虫発生量の増減に対する降雨強度の影響」
— 遊磨正秀
 - ・ビデオによる紹介 — 守山ホタルの会
— 全国ホタル研究会総会
交流会受付
- 18:00 ~ 20:30 交流会
- 20:30 ~ 大会旗返還&研究会と交流会のあいさつ — 小林昭朗

6/5 (日)

- ・京都の環境視察





第 53 回全国ホテル研究会京都大会 協賛金
協力者一覧（順不同、敬称略）

- ・ 京都洛北ロータリークラブ
- ・ 京洛ライオンズクラブ
- ・ 宝ホールディングス株式会社
- ・ 株式会社 吉川組
- ・ 南禅寺「順正」
- ・ 有栖川を考える会
- ・ 嵯峨自治連合会
- ・ がんこフード株式会社
- ・ 高屋素明
- ・ 京都中ロータリークラブ
- ・ 京都ホテルオークラ株式会社
- ・ 株式会社京都銀行
- ・ 出町商店街
- ・ 清滝ゲンジボタル保存会
- ・ 青雲会
- ・ 高雄保勝会
- ・ 福井修一郎

御 礼

この度、「第 53 回全国ホテル研究会京都大会」の開催にあたりまして、多くの皆様方より多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。実行委員一同、深く感謝しております。

この会は 55 年目にして初めて京都で開催することが出来ました。
全国から参加していただく会員の皆様に有名社寺や河川で優雅に舞い飛ぶ古都のホテルを十分堪能していただきたいと願っております。

第 53 回全国ホテル京都大会実行委員一同